

小豆島ブランド確立委員会 事業計画

副理事長 壺井 隆夫

小豆島ブランド確立委員会 委員長 藤田 幸司

1 小豆島は自然あふれる多様な地域資源・観光資源・食文化を活かした産業が発達してき
2 ました。しかし、時代の変革期が訪れ地方が抱える課題に対して慣習や価値観が旧態依然
3 では現代社会に取り残されています。新たな価値観で小豆島の未来を切り開くために、若
4 い世代と小豆島を築き上げてきた世代がつながり、そして小豆島に携わる関係人口を増や
5 し多種多様な発想で特色ある地域ブランドや魅力を生み出す力を養う事が必要不可欠です。

6 まずは、我々公益社団法人小豆島青年会議所（以下、小豆島J C）と島民が関係人口を
7 増やす必要性と可能性を知るために、地域資源・観光資源・食文化などの観点から、島内
8 で活動している他団体との連携を図り、地方や小豆島だからこそできる取組みとは何かを
9 学び、自らが小豆島内外の関係人口に関わる意識を持ち、地域の活性化につながる意識改
10 革の場を設け推進することで、「ソーシャル」社会や地域・環境をよりよくしていく行動に
11 つなげます。そして、自然豊かな小豆島の地域資源の魅力が新たな価値を生むために、行
12 政や企業と連携をとり地域活動に熱心な人財とともに、小豆島の可能性を創出し持続性の
13 ある地域資源を発信する仕組みを構築することで、地域ブランド確立につなげます。さら
14 に、小豆島の子供達に礼儀や相手を思いやる心、心身の鍛練と健康の増進を図るため、わ
15 んぱく相撲小豆島実行委員会のサポートを行い、小豆島場所を勝ち上がった選手は全国各
16 地の代表と交流することで心身ともに刺激を受け、ここでしかできない経験をしていく事
17 で更なる成長と自信の可能性を切り開き、何事にも立ち向かう意識の向上につなげます。

18 事業を通じて、小豆島J Cや島民が人や地域の関わり合いを能動的に楽しみ活動できる
19 人財となり、小豆島内外と関わり合い地域を巻き込む多様なコミュニティが生まれ、新た
20 な視点で地域ブランド、資源の発信につながり、魅力ある明るい豊かな社会を実現します。

21

22 <事業計画>

23 1. 小豆島の関係人口を増やす事業（3月）

24 2. わんぱく相撲小豆島場所の開催（6月）

25 3. 小豆島の地域資源発信事業（10月）

26 4. 例会の設営（4月、7月、11月）

27 5. その他

28

29

30